

# 協同組合学術研修会

2018年

11月25日(日) 10:00-13:00

鹿児島県歯科医師会館 5階ホール（鹿児島市照国町13-15）

## 講演

「スーパーボンドの特性を活かす  
臨床での使い方」

講師：須貝 昭弘 氏

（神奈川県川崎市開業 須貝歯科医院 院長）

## 受講料

会員 5,000円 / スタッフ 1,000円

※お申し込みいただいた方には別途納入方法をご案内いたします。

※事前申込制となります。

ご希望の方は裏面の申込書にご記入の上、事務局まで  
FAXにてお申し込みください。

主催

鹿児島県歯科医師協同組合

TEL：099-222-6982

FAX：099-226-3353

担当：原園

## スーパーボンドの特性を活かす臨床での使い方

歯科材料を選択する時、その材料の特性について熟知しているものほど使いやすい。臨床のあらゆる場面で各メーカーが材料を開発し商品化してくるが、パンフレットで多少のアドバンテージがあっても使い慣れた材料の方が使いやすく、予後も読めるので迂闊に手をだす気にはなれない。

サンメディカル社製のスーパーボンドは発売されて36年が経ち、臨床に出てから常にチェアサイドにあった商品であり、その長所も短所も知り尽くしているところから私の臨床には欠かせない存在となっている。

スーパーボンドの特性として

1. 歯質とあらゆる修復物に対して強い接着力が期待できる
2. 生体親和性が高い
3. フィラーを含まないため切削することができ除去しやすい
4. 流動性が高く細部に浸透しやすい

これらの特性を活かしながら、どのような粉液比で混和した時に流動性や作業時間がどれくらいになるのか、また筆積みで使用する際には筆をどの程度液に浸して粉に持っていくとどれくらいの大きさの球ができ流動性がどうなのかも経験的に熟知しているのである。

臨床家の中で汎用されている材料であり、あらゆる場面で使用されていると思われるが多くの先生方から思いもよらない場面での使い方を聞くことがある。それらを参考にしながらT-Fixや築造体・補綴物のセットのような通常の使用目的以外に、私の臨床ではその特性を活かしてまた違った場面でも使用している。一つの材料の特性を熟知しその長所を生かしていくことは臨床家として材料選びの大切なポイントであるが、臨床経過の中からはか本当の特性は判断できない。予後の読める材料を選択して使用することが臨床家として大切なことだと考えている。スーパーボンドの臨床での使い方について中長期の予後を含めて紹介してみたい。

## 申込書

☆受付終了後、受講料の納入案内（申込確認書）を送付いたします。

医 院 名			
組 合 員 名			
T E L		F A X	

氏 名	ふ り が な	職種(○をつけてください)
		歯科医師 歯科衛生士 その他
		歯科医師 歯科衛生士 その他
		歯科医師 歯科衛生士 その他